年間授業計画　様式

大田桜台 高等学校　令和６年度（３学年用）　教科　　地理歴史　　科目　日本史探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　日本史探究　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　5 組

教科担当者：（1～5組：関　　）

使用教科書：（「高等学校　日本史探究」（第一学習社）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解すると共に、調査や諸資料から様々な情報を適切且つ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解すると共に、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切且つ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解する。 ・国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。	第１章　原始・古代の日本と　東アジア 第１節　日本文化の黎明 第２節　ヤマト政権と律令国家の形成	【知識・技能】・自然環境と人間の生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現する。 【思考・判断・表現】・中国大陸・朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，小国の形成と連合，古代の国家の形成の過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
	・貴族政治の展開，文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解する。	第３節　律令国家の変容	【知識・技能】【思考・判断・表現】・地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	・貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，古代から中世への時代の展開を理解する。 ・武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解する。	第２章　中世の日本と世界 第１節　中世への転換 第２節　鎌倉幕府の展開	【知識・技能】・公武関係の変化，宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【思考・判断・表現】・権力の主体の変化，東アジアとの関わりなどに着目して，古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通じて読み取れる情報から，中世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	17
	・武家政権の変容，日明貿易の展開と琉球王国の成立，村落や都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地方権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解する。	第３節　室町幕府の展開	【知識・技能】【思考・判断・表現】・社会や経済の変化とその影響，東アジアの国際情勢の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2学期	・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解する。	第３章　近世の日本と世界 第１節　近世への転換 第２節　幕藩体制の確立	【知識・技能】【思考・判断・表現】・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】・歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，近世の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	・支配秩序の形成と身分制，技術の向上と開発の進展，産業の発達，学問・文化の発展を基に，近世の社会・文化の特色を理解する。 ・飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解する。	第３節　幕藩体制の展開 第４節　社会の変化と幕府の対応	【知識・技能】【思考・判断・表現】・交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	・対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に，近世から近代への時代の転換を理解する。 ・明治維新，文明開化の風潮，自由民権運動，大日本帝国憲法の制定などを基に，日本が立憲体制に移行したことや，明治初期の文化の特色について理解する。	第４章　近現代の地域・日本と世界 第１節　近代への転換 第２節　近代国家の形成	【知識・技能】・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，政治・経済の変化と思想への影響などに着目して，近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現する。 【思考・判断・表現】・近代の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取り，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・歴史資料の特性を踏まえ，資料から読み取れる情報から，近代の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	・条約改正，日清・日露戦争，産業革命の展開，交通の整備，学問の発達，教育制度の確立，社会問題の発生などを基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容，近代の文化や社会の特色について理解する。 ・第一次世界大戦，産業構造の変化，社会運動の動向，政党政治の展開，学問の発展や教育制度の拡充などを基に，国際社会との関係の変容や，産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解する。	第３節　国際関係の推移と近代産業の発展 第４節　第一次世界大戦と日本	【知識・技能】【思考・判断・表現】・アジアや欧米諸国との関係，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，政党政治の展開と国際的地位の確立，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3学期	・恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解する。 ・占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興などを基に，我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。	第５節　軍部の台頭と戦争の長期化 第６節　日本の再建	【知識・技能】【思考・判断・表現】・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
						合計	140